

平成30年度

事業計画書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

公益財団法人筑紫野市文化振興財団

## 平成30年度公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業計画書

### I. 基本方針

公益財団法人筑紫野市文化振興財団は、定款に「文化施設の管理運営を効率的かつ円滑に行い、市民の文化的生活の向上及び地域文化の振興に寄与すること」を目的に掲げ、その実現に向けて取り組んでいる。

平成29年度に実施した「演劇づくりと講演会」事業は市教育委員会と取り組んだことで、目標としていた文化行政と学校教育行政の連携の一翼を担うことができた。この実績を踏まえ、30年度は文化事業を学校教育の現場で展開していく第一歩と位置づけて取り組む。これらは基本協定書に定めるところの文化芸術の振興に関する事業として実施する。

また、財団の運営にあたっては、将来にわたって継続的に公益財団法人としての使命を果たすため、人材育成の強化を図っていく。

#### 定款に定める事業（第4条関係）

1. 市民の文化・芸術の振興に関する事業
2. 文化の拠点となる施設の整備及び管理運営に関する事業
3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### II. 事業内容

#### 1. 市民の文化・芸術の振興に関する事業（定款第4条第1項第1号関係）

##### ①公演事業の実施について

定款に則り、市民の文化的生活の向上及び地域文化の振興に寄与する事業等を行う。

#### 平成30年度のテーマ

『 新たな一步を ～アート イノベーション～ 』

- (1) 文化会館に幅広い世代の市民がつどう“新しい広場”をめざした事業を行う。

文化芸術との出会いや表現活動の体験、そして、夢の実現を支援する“新

しい広場”をコンセプトに16事業を実施する。

これらの事業をとおして“感動”“創造”“自己実現”などを体験できる、親しみのある文化施設としての視点を持ち、「アート之力」で“新しい広場”の具体化をめざした事業の展開に努める。

- (2) 今、青少年に求められている資質のひとつに、コミュニケーション能力がある。“正解が一つではない表現活動”を通じたグループワークは、多様な価値観が交錯し、互いを受容しながら課題解決をめざしていく。表現活動は、まさに時代が求めているコミュニケーション能力の育成に有用であるという新機軸を提案する。

そこで、劇作家・演出家の平田オリザ氏を迎え、平田氏が開発し小・中学校の国語教科書に採用されている表現教育プログラムをモデル小学校で実施する。「アート之力」でコミュニケーション能力を育成していく過程を本市の文化・教育行政の関係者に見てもらい、学校現場で文化活動を展開していく新たな一歩とする。

## ②定期情報誌の発行及びホームページの運営

当財団の活動、事業の広報・周知をするため情報誌「トピック」を隔月刊で43,000部発行し、市内全世帯に無料配布するとともに市内各施設（図書館、生涯学習センター及び各コミュニティセンターなど）にも送付する。

また、ホームページで施設の紹介や利用案内、催し物案内などを行い、市民への周知と利用者の増加に努める。

## 2. 文化の拠点となる施設の整備及び管理運営に関する事業（定款第4条第1項第2号関係）

### ①筑紫野市文化会館の管理運営について

- (1) 施設の使用の許可及び使用料の収受に関すること

筑紫野市文化会館の利用承認等業務及び使用料の収納業務を的確に行うとともに、利用率向上のため、利用者には適切・積極的なサービスに努める。

また、施設の貸与については、条例に基づき公益目的で利用する場合は優

先的に貸与する。

(2) 施設及び附属設備の維持管理に関すること

利用者や入館者が安全で安心して快適に利用できるよう、施設全般の適正な維持管理に努める。

(3) 災害等に備えて防火避難訓練等の実施

災害等に備えて、消防用設備保守点検及び防火避難訓練を行う。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1号第3項関係）

①文化施設の貸与事業

公益目的以外でも施設使用の要望があるため、条例に基づき物販利用などは利用料を4倍に設定するなど、公益目的と差を付けて施設貸与を行う。

②物品販売等に関する事業

施設利用者等が物品販売等を行う際に、販売手数料を徴収する。

4. その他

財団職員の知識、技術の向上を図るため、講座、説明会及び研修会に参加し、研鑽に努める。

## 別表

## 平成30年度公演事業月別年間事業計画表

(定款第4条第1項第1号関係)

月	事業名	事業種別	会場	概要
30年 4	(新規事業) 市民企画・会館リクエスト事業 秋田漣コンサートwith小原孝&村上信夫	育成支援型 鑑賞型	大ホール	九州北部豪雨復興支援チャリティーコンサート実行委員会と共催。
5、 10	あなたもピアニスト!	その他	大・多目的ホール	グランドピアノの弾き込みの為、コンクール等の出演をめざす人を対象に練習機会を提供。
7	(新規事業)文化活動アウトリーチ事業 第十二回ちくしの寄席 学校 DE 落語会	鑑賞型	小・中学校	本市出身のプロ落語家による学校公演。日本の伝統芸能の継承をめざす。
	第十三回ちくしの寄席 [昼の部]落語の楽しみ方講座	[昼の部] 教養講座型	さんあい ホール	本市出身のプロ落語家・立川生志、柳家さん光による日本の伝統芸能・話芸の披露。 初企画となる[昼の部]は、青少年から成人を対象とした落語初心者向け講座を開く。
	[夜の部]立川生志“ふるさと応援”落語会	[夜の部] 鑑賞型		
9、 12	(新規事業)文化活動アウトリーチ事業 平田オリザさんと“楽しい”をつくる ～小学生&中学生のための表現活動 ワークショップ～	育成支援型	二日市 小学校 ・ 文化会館	ふくおか教育を考える会協議会と共催。二日市小学校が取り組んでいる表現能力向上の取り組みのひとつとして、平田オリザ氏を招聘したモデル事業を行う。
9	ちくしのミュージックフェスタ with DA・N・KA・I Vol.2	参加創造型	大ホール	実行委員会と共催。“団塊世代”の楽曲を演奏する世代を越えたグループによる発表と交流。
	DRUM TAO 全国ツアー2018 (仮称)	鑑賞型	大ホール	世界で活躍する和太鼓グループ・TAOの演奏を鑑賞する機会を提供。
10	生涯学習フェスティバル関連事業 第14回ハーモニーフェスタ in ちくしの	参加創造型	大ホール	幼児から高齢者までの市内の合唱グループとゲストによる発表と交流。
12	第33回名曲コンサート	鑑賞型	大ホール	九州交響楽団員を中心としたアンサンブル福岡による、年末恒例のクラシックコンサート。
31年 3	ちくしのプラスフェスタ Vol.3	育成支援型	大ホール	市内中学校、高等学校、社会人の9団体による吹奏楽団の発表と交流。 「メセナちくしの“吹奏楽祭”」継承事業。
	夢野久作と杉山3代研究会 第7回研究大会	教養講座型	生涯学習 センター	23年度に開催した文化塾「杉山家3代と筑紫野」の継承事業。
通年	文化活動団体支援事業	育成支援型	—	筑紫野市ちくしの少年少女合唱団、筑紫野市文化協会、(特)ちくしの子ども劇場、筑紫野市吹奏楽団、ちくしの混声合唱団の活動を支援する。
	文化活動ボランティア育成事業 サポーターズバンク	育成支援型	—	公演事業の運営等を支援する人材の育成。
未定	市民企画公募事業 プロデューサーズ 2018	育成支援型	文化会館	市民の企画・制作イベントを公募する。発表の機会を提供し、市民の文化活動を支援する。
	航空自衛隊春日基地 ふれあいコンサート in 筑紫野	鑑賞型	大ホール	航空自衛隊と共催。18年度より陸・海・空の音楽隊を招聘。
筑紫 地区 9	ちくし地区の少年少女合唱団による 第15回少年少女合唱団 ジョイントコンサート	育成支援型	那珂川	筑紫地区で活動する5合唱団による発表と交流。